

まちづくりの柱

6

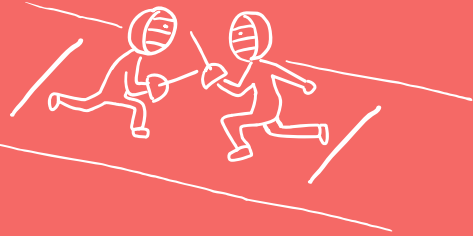
笑顔があふれ 健康で心豊かに 暮らせるまち



施策



1. スポーツ・芸術文化の振興
2. 健康長寿の推進
3. 高齢者に優しいまちづくり
4. 誰もが暮らしやすいまちづくり
5. 安定した医療提供体制の構築



重点項目

- 地域や競技スポーツ関係団体等と連携・協働しながら、ライフステージに応じたスポーツ活動に取り組める環境を整備し、スポーツの普及促進を図ります。
- 市民が自発的に生活習慣の改善に向けた健康づくりを行う機会の提供や、高齢者の生きがいづくり、楽しみながら健康状態を確認するフレイルチェックの普及など、市民の健康増進を図ります。

関連指標

指標	基準値(基準年度)	目指す方向
定期的に運動をしている市民の割合	45.0%(R1)	UP
介護を必要としない高齢者の割合	84.7%(R1)	UP
ボランティア活動への参加率	13.1%(R1)	UP

スポーツ・ 芸術文化の振興

現状と課題

- スポーツは、健康や体力の増進に資するとともに、人々の親睦や交流を深めるなど、豊かな地域社会の形成においても大きな役割を果たしています。
- 市民に親しまれている市民体育館や屋内温水プールの更新が必要なため、周辺の景観や資源を活かした、スポーツや健康づくりなどの拠点として整備を進めます。
- 芸術・文化活動は、市民の豊かな情操と創造力を育むとともに、まちの個性や魅力を形成する要素となることから、市民が芸術文化を身近に感じ親しむことができるよう支援することが求められます。



方向性

動き出す 創り出す

- 市民の交流の場ともなる総合体育館や新屋内温水プールを整備します。

誇りと つながり

- 各種スポーツ大会を開催するなど、競技スポーツへの支援を充実させます。

心も体も 元気で健康

- 市民が気軽に健康づくりや体力づくりに取り組めるよう、スポーツ活動を推進します。
- 質の高い芸術文化に触れる機会を市民に提供するとともに、自主的で多様な芸術・文化活動の支援に努めます。

関連する
SDGs



▶ 主な取組の概要 ◀

取組	内容
<p>1 豊かなライフステージを支えるスポーツの推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 市民の誰もが気軽にスポーツ活動に親しめるよう、「する」「みる」「ささえる」という様々な形でスポーツに参加できる環境を整え、ライフステージに応じたスポーツ活動の推進を図ります。 ▶ 運動のきっかけづくりの提供と運動継続のための支援に努め、生活の中に気軽に運動を取り入れ、健康及び体力の保持増進ができる環境を整備します。 ▶ 年齢や障害の有無等を問わずスポーツに親しみ、楽しみながらスポーツ活動を継続することができるスポーツ環境の整備を図ります。 ▶ 関係機関や団体、民間企業などと連携を図りながら、指導者やボランティア等の運動に関わる人材の確保・育成に取り組むとともに、その活動と機会の場の充実に努めます。
<p>2 競技スポーツへの支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 各種競技スポーツ大会を支援するとともに、新たなスポーツイベントの開催などを通じ、スポーツ活動への参加の機会と意欲を高め、競技スポーツ人口の拡大を図ります。 ▶ 民間スポーツクラブ等との連携を図り、競技スポーツの振興に努めます。 ▶ トップアスリートとの交流などにより、市民が高い技術のスポーツと直接触れ合う機会を提供し、スポーツへの興味・関心を高めます。 ▶ 関係団体等と連携し、スポーツ活動の機会を提供するとともに、競技力の向上を図るため、指導者の育成支援などに努め、スポーツ活動を支える仕組みの充実に努めます。
<p>3 市民の交流の場ともなるスポーツ施設の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 年齢や障害の有無等を問わず、誰もが気軽にスポーツやレクリエーションに親しめるスポーツ施設の整備に努めます。 ▶ スポーツの振興を通じ、市民一人ひとりの健康増進や交流の促進の場ともなる総合体育館や新屋内温水プールの整備を進めます。 ▶ スポーツ施設の有効な活用と収益性の向上を図るため、民間事業者のアイデアやノウハウを活かした公民連携の取組を推進します。
<p>4 市民の芸術・文化活動の支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 沼津市芸術祭やぬまづ茶会など、市民の文化活動の場や機会の確保を図り、市民の自主的な芸術・文化活動を育成、支援します。 ▶ 芸術・文化活動の拠点となる文化センターの施設改修に計画的に取り組み、その利活用を推進します。
<p>5 芸術文化の振興</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 質の高い芸術文化の鑑賞機会の確保や、本市ゆかりの芸術文化の顕彰等により、市民文化の向上と、想像力や感性豊かな人間性の涵養を図ります。 ▶ 地域の特色ある芸術文化の継承・発展を支援し、多様な芸術文化の発展、郷土愛の醸成を図ります。

笑顔があふれ健康で心豊かに暮らせるまち

▶ 関連する主な計画 ◀

- 沼津市教育大綱
- 沼津市教育基本構想
- 沼津市スポーツ推進基本計画

健康長寿の 推進

現状と課題

- 我が国は、平均寿命が世界一の長寿社会を迎えており、今後においては、健康寿命をいかに延伸していくかが求められています。
- 「人生100年時代」を見据え、若い世代から高齢者まで、全ての人が元気に活躍し続けることができるよう、市民の健康意識の向上に努め、市民や地域の自発的な健康づくり活動を促進するとともに、疾病の予防、早期発見・早期対応に加え、こころの健康づくりを進めることが重要です。

方向性

動き出す 創り出す

- 生活習慣病予防のため、市民の自発的な健康づくりの促進を図ります。

誇りと つながり

- 地域や学校、職場等と連携した健康づくりの取組を推進します。

心も体も 元気で健康

- 健康診査や保健指導などの充実を図り、疾病の予防、早期発見・早期対応を促進します。
- こころの健康づくりや自殺予防の取組を推進し、市民のこころのケアの充実に努めます。

関連する
SDGs



▶ 主な取組の概要 ◀

取組	内容
<p>1 健康づくりの支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 市民自らが生活習慣を見直し、その改善に向けて自発的に健康づくりを行うよう、健康教育や相談等により健康意識の向上に努めます。 ▶ 健康づくりイベントや講座・教室を開催するなど、市民が健康づくり活動に取り組める機会を提供します。 ▶ 地域主体での健康づくり活動や、関係機関と連携した事業所における健康づくり活動への支援に取り組みます。 ▶ 運動のきっかけづくりとその継続のための機会を提供し、からだを動かす習慣づくりを支援します。 ▶ 子どもから高齢者まで、それぞれのライフステージにおける歯と口腔の健康づくりや、望ましい食生活を身に付けるための取組を推進します。
<p>2 疾病の予防、早期発見・早期対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 各種がん検診等の健康診査や保健指導の充実により、疾病の予防、早期発見・早期対応を促進します。 ▶ 感染のおそれがある疾病の発生や蔓延を予防するため、予防接種の接種率の向上に努めます。 ▶ 国、県との連携のもと、感染症の予防・まん延防止に係る正確な情報を提供し、迅速かつ適切な対応に努めます。
<p>3 こころのケアの充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ こころの健康づくりに関する講座やイベントを開催するなど、こころの健康についての市民への啓発・周知に努めます。 ▶ ゲートキーパー*の養成等により、悩みを抱えた人を支える人材の育成を推進します。 ▶ 専門職や関係機関と連携し、こころの相談支援体制の充実を図り、自殺予防に係る対策を推進します。

▶ 関連する主な計画 ◀

- 沼津市健康増進計画
- 沼津市歯科口腔保健計画
- 沼津市食育推進計画
- いのち支える沼津市自殺対策行動計画



高齢者に優しい まちづくり

現状と課題

- 高齢化の進展により、本市の老年人口は総人口の3割を超え、更にその半数以上が要介護リスクの高まる後期高齢者となっています。
- 単身高齢者又は高齢者のみの世帯の増加に伴い、自助努力のみでは日常生活が困難となる高齢者の増加が見込まれています。
- 「住み慣れた地域で、ともに支え合いながら、高齢者が自分らしく、安心して暮らせるまち」の実現を目指すとともに、高齢者がいつまでも健康で、社会の中でいきいきと暮らすことができるよう、フレイル対策を推進し、介護予防の充実を図る必要があります。
- 高齢者の生きがいづくりや居場所づくり、社会参画などを推進し、心のかよう支え合いのまちづくりを進める必要があります。

方向性

動き出す 創り出す

- 加齢により運動機能・認知機能・社会とのつながり等が低下した状態であるフレイルへの対策に努めます。

誇りと つながり

- 地域包括支援センターを中核とした関係者間の連携・協働体制により、地域包括ケアシステムの強化を図ります。
- 地域と連携し、単身高齢者等の孤立の防止に努めます。

心も体も 元気で健康

- 高齢者の生きがいづくりや居場所づくり、社会参画など、高齢者福祉の推進を図ります。

関連する
SDGs



▶ 主な取組の概要 ◀

取組	内容
<p>1 フレイル対策の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 早期の介護予防策として、フレイル予防を啓発し、高齢者の自発的な健康づくりを推進します。 ▶ フレイル状態にある高齢者を適切な支援につなげ、生活機能の改善、低栄養の防止及び疾病予防・重症化予防を図ります。 ▶ 高齢者自らが楽しみながら継続的に栄養・運動・社会参加を実践し、包括的にチェックできる仕組みづくりに取り組みます。
<p>2 高齢者の生きがいづくりと社会参画の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 保健医療等の専門相談や体力づくり教室等へ的高齢者の積極的な参加を促進し、健康づくりへの意識向上と高齢者の生きがいづくり・居場所づくりの推進に努めます。 ▶ 老人クラブをはじめ、サロン活動や社会奉仕活動など、自らが担い手となって積極的に参画する機会を充実させ、高齢者の社会参画の拡大を図ります。
<p>3 地域包括ケアシステムの強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 地域包括支援センターを中核として、地域での連携・協働による高齢者の支援を推進するとともに、在宅医療・介護連携施策に取り組み、地域包括ケアシステムの強化を図ります。 ▶ 認知症を患っても希望を持って日常生活を送ることができるよう、認知症対策や高齢者の意思確認方法の確立、成年後見制度の利用に関わる啓発や支援など、本人や家族等への支援の充実を図ります。 ▶ 地域の関係者間における連携・協働により、地域課題への対応や必要なサービスの創出及び担い手の育成などを図り、地域住民主体による高齢者支援を推進します。
<p>4 単身高齢者等の孤立防止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 地域や高齢者と関わる機会の多い民間事業者などと連携し、多様な悩みを抱える高齢者や、閉じこもりがちな高齢者を把握し、見守りなどの支援の充実に努めます。 ▶ 見守りや手助けを必要とする高齢者が安心して地域で暮らすことができるよう、地域住民やボランティアなど、様々な人たちが自発的に助け合う「互助」や「共助」による支え合いを進めます。

笑顔があふれ健康で心豊かに暮らせるまち

▶ 関連する主な計画 ◀

- 沼津市高齢者保健福祉計画
- 沼津市地域福祉計画



誰もが暮らしやすい まちづくり

現状と課題

- 誰もが暮らしやすいまちにするために、全ての人に配慮した、全ての人のためのデザインであるユニバーサルデザインの推進が必要です。
- 障害のある人が自分らしく自立して生きていけるよう、障害への理解を促進することが求められます。
- 障害のある人を取り巻く環境の変化に対応し、自立と社会参加の促進を目指すリハビリテーションと、共生社会を目指すノーマライゼーション*を基本的な理念とした、誰もが暮らしやすいまちづくりが求められています。
- 教育、保健、福祉等の連携によるライフステージに応じた切れ目のない支援体制の構築など、障害のある人の就学・就業機会の拡充や生活等の支援の充実が求められます。
- 生活困窮者に対する自立支援の充実に努めるとともに、市民が支え合う地域福祉活動の推進を図るなど、市民、事業者、行政が協働し、地域全体で支え合う福祉を目指すことが重要です。

方向性

動き出す 創り出す

- 障害や障害のある人への理解促進と啓発強化を図るとともに、安心して自分らしい生活を営むことができるための支援に努め、共生社会の実現を目指します。

誇りと つながり

- 地域全体でともに支え合う福祉のまちづくりを進め、地域共生社会を目指します。

心も体も 元気で健康

- 誰もが安心して快適に暮らせるよう、ユニバーサルデザインを推進します。
- 生活困窮者支援を通じた地域ネットワークを構築し、生活困窮者の自立支援の充実を図ります。

関連する SDGs



▶ 主な取組の概要 ◀

取組	内容
<p>1 ユニバーサルデザインの推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 誰もが安心して快適に暮らせるよう、ユニバーサルデザインを推進します。 ▶ 出前講座等の開催などを通じて、ユニバーサルデザインや心のバリアフリーに対する意識の普及啓発に努めます。
<p>2 障害への理解の促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 障害のある人が地域で安心して住み続けられるよう、障害についての正しい理解の普及促進、障害を理由とする差別の解消を図るための啓発活動や幼少期からの福祉教育、ボランティア・関係団体等の活動の支援に努めます。 ▶ 障害のある人の社会参加を促進するとともに、地域社会との交流機会の拡大を図ります。
<p>3 障害のある人の生活等の支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 障害のある人が安心して生活できるよう、各種障害福祉・保健医療サービスの充実を図ります。 ▶ 障害のある人が住み慣れた家庭や地域で生活できるよう、相談支援体制を充実させ、生活の場の確保、雇用・就労の促進等の支援を図ります。 ▶ 出生から社会参加に至るまで切れ目のない支援体制の構築を図り、発達に不安のある児童に対する保育、教育や福祉サービス、相談体制の充実に努めます。 ▶ 障害福祉サービスを提供する事業者及び福祉従事者の確保、障害のある人の自立生活を支援するサービスや拠点の充実に努めます。
<p>4 生活困窮者の自立支援の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 社会的に孤立しやすいひとり親家庭やひきこもり、非正規労働者など、現に困窮し、又は将来困窮するおそれのある市民を早期に把握し、支援に結び付けられるよう、関係機関等と連携し、支援体制を強化します。 ▶ 生活困窮者自立支援法に基づく地域ネットワークを構築し、包括的な生活困窮者支援に努めます。
<p>5 地域全体で支え合う福祉活動の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 地域福祉活動を推進するため、市民一人ひとりが福祉の担い手として、ともに支え合う意識の普及啓発やその仕組みづくりに努めます。 ▶ 地域福祉活動の担い手を確保・育成し、活動しやすい環境づくりを推進するため、ボランティアセンターの機能を充実させるとともに、講座の開催などにより、地域福祉に関する地域住民の理解を深め、連携を強化します。 ▶ 社会福祉協議会や福祉団体などによる支援体制を充実させ、地域における福祉活動の継続的な取組を展開し、地域共生社会の推進を図ります。

▶ 関連する主な計画 ◀

- 沼津市地域福祉計画
- 沼津市障害者計画

安定した 医療提供体制の構築

現状と課題

- 関係機関や医療機関との連携のもと、救急医療体制の確保など、安定した医療提供体制の構築を図ることが必要となっています。
- 県東部の地域医療の中核を担う市立病院においては、医師をはじめとした医療職員の確保や経営の改善により、安定した医療提供体制を維持する必要があります。
- 市民が安心して暮らせるよう、市立病院の高度医療機能の維持や充実、利便性の向上を図ることが求められています。
- 健康保持や医療費の適正化対策などに努め、国民健康保険制度の健全運用を図ることが重要です。

方向性

動き出す 創り出す

- 市立病院の機能維持・充実や安定経営に努めます。

誇りと つながり

- 関係機関や医療機関と連携し、地域医療及び救急医療体制の充実に努めます。

心も体も 元気で健康

- 国民健康保険制度の健全運用を図るため、健康保持や医療費の適正化対策を推進します。

関連する
SDGs



▶ 主な取組の概要 ◀

取組	内容
<p>1 地域医療及び救急医療体制の確保</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 初期救急及び2次救急の安定的な提供体制の確保に努めます。 ▶ 沼津夜間救急医療センターと当番医により、夜間・休日における初期救急医療の安定提供と、2次救急病院との円滑な連携の確保に努めます。 ▶ 関係機関や医療機関との連携により、それぞれの役割分担のもと、地域医療及び救急医療体制の充実に努めます。
<p>2 市立病院の機能維持・充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 患者の権利を尊重し、社会の安心を支える救急医療、小児医療、周産期医療等の急性期及び専門医療を提供します。 ▶ 医科系大学等との連携の強化により安定的な人材の確保を図るとともに、人材の育成に取り組みます。 ▶ 病院機能を維持するための施設の適正な維持管理と安定した経営に努めるとともに、将来の医療環境の変化に柔軟に対応できる施設の更新に向けた検討を進めます。
<p>3 国民健康保険制度の健全運用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ レセプト等から国民健康保険の現状を分析し対応することで、医療費の適正化に努めます。 ▶ 沼津市国民健康保険データヘルス計画等に基づき、効果的かつ効率的な保健事業の実施に努めます。 ▶ 相互扶助により成り立つ制度趣旨の周知等を図るなど、保険料収納率の向上に努めます。

▶ 関連する主な計画 ◀

- 沼津市国民健康保険データヘルス計画
- 沼津市国民健康保険特定健康診査等実施計画
- 沼津市立病院新改革プラン

